

第21回（平成1年度）サントリー音楽賞
受賞者は有田正広氏に決定

毎年わが国の洋楽の発展にもっとも顕著な業績をあげた日本人に贈る「サントリー音楽賞」の第21回（平成1年度）受賞者は、有田正広氏に決定した。

1. 平成2年1月15日（成人の日）午前10時より東京丸の内の東京会館において、選考委員13名の出席により第1次選考を行ない、「候補者」を選定した。
2. 引き続き3月13日（火）午前10時より、東京紀尾井町のザ・フォーラムにおいて選考委員12名の出席により最終選考会を開催（丹羽正明委員は書面参加）、慎重な審議の結果、有田正広氏が選定された。
そして、同日午後開催の理事会において正式に決定された。

3. 有田正広氏の選考理由は別紙の通り。

4. 選考委員は下記の13名。

磯山 雅・岩井宏之・小石忠男・菅野浩和・武田明倫
中河原理・丹羽正明・藤田由之・船山 隆・松本勝男
諸井 誠・門馬直美・吉田雅夫

（50音順）

有田正広氏（古楽演奏）

〔贈賞理由〕

有田正広氏は、昨年古楽器による「東京バッハ・モーツァルト・オーケストラ」を結成し、4月その結成公演を指揮したが、その演奏は、わが国の古楽界の著しい水準向上を認識させるとともに、その斬新な演奏様式によって、オーケストラ界に新風を吹き込むものであった。

また、11月11日、津田ホールで行なった「バッハ・フルートソナタ」のリサイタルや「バッハ・フルートソナタ全集」のレコード録音（デンオン・アリアール）では、演奏と研究・解釈の両面で世界最高水準の力量を示し、わが国における古楽器音楽の躍進に大きく貢献した。

[経歴]

1949年生まれ。フルートを故林リリ子に師事。1972年に桐朋学園大学を首席で卒業。第40回NHK・毎日音楽コンクールのフルート部門第1位入賞。1975年ブリュッセル王立音楽院をプリュミエ・プリで卒業。同年ブリュージュ国際音楽コンクールのトラヴェルソ部門第1位。1977年デン・ハーグ王立音楽院を最高栄誉賞付ソリスト・ディプロマを得て卒業。帰国してからはリコーダー・トラヴェルソの第一人者としてソロ、室内楽を続け、昨年4月オリジナル楽器による東京バッハ・モーツァルト室内管弦楽団を創設、その指揮者として第一線で活躍してる。

桐朋学園大学古楽器科講師。

以 上

